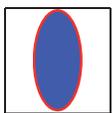
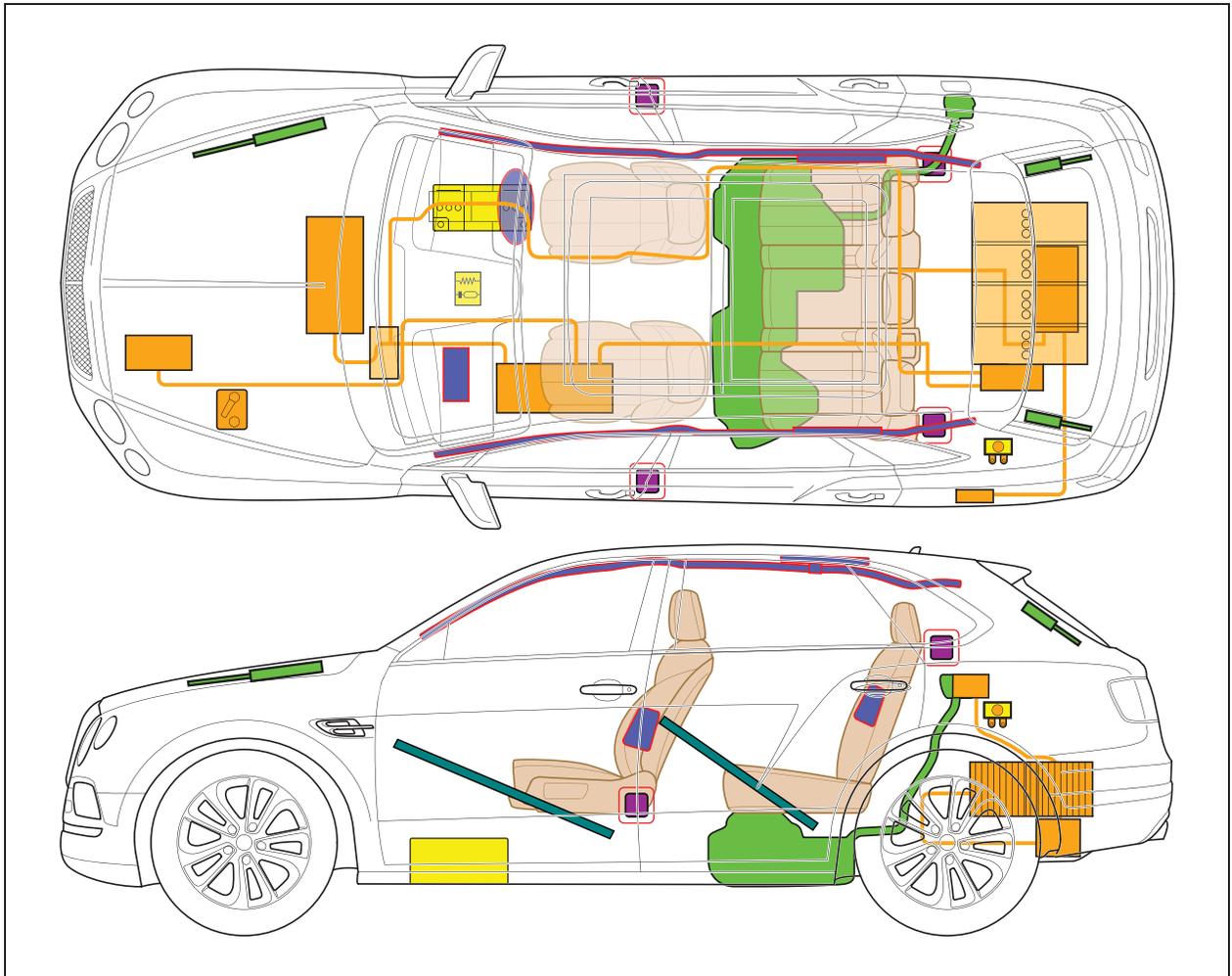


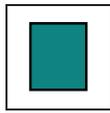


BENTLEY

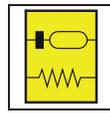
Bentley Motors Limited
Bentayga ハイブリッド
SUV
2020 -



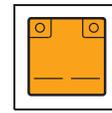
エアバッグ



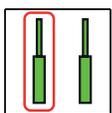
高強度ゾーン



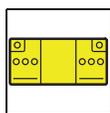
SRS コント
ロール ユ
ニット



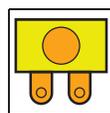
高電圧バッテ
リー パック



ガス ストラッ
ト/負荷付き
スプリング



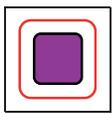
バッテリー充
電不足



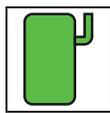
ヒューズボッ
クスで作動停
止する高電圧
システム



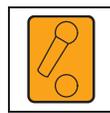
高電圧電源
ケーブル/構
成部品



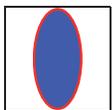
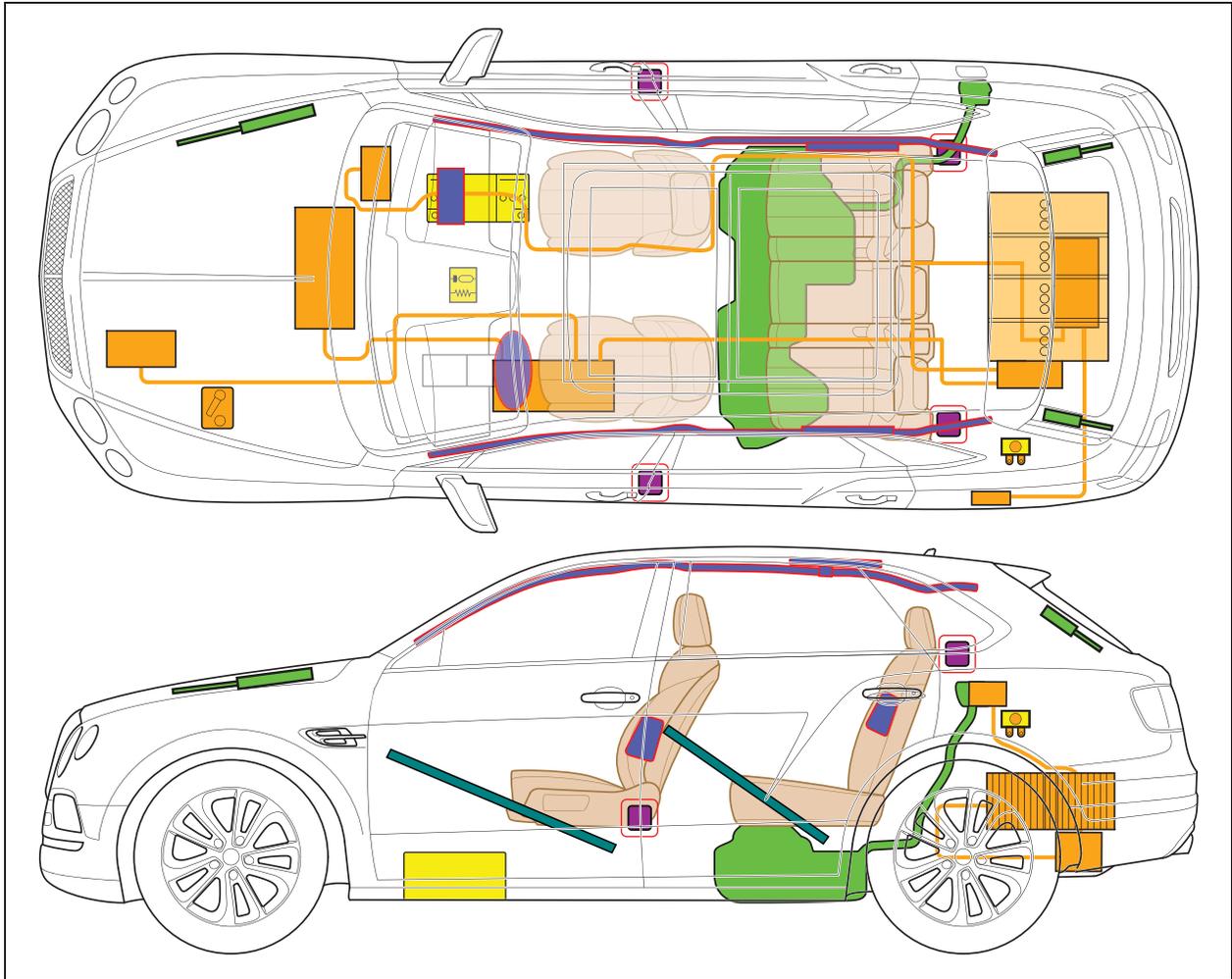
シートベルト
プリテンショ
ナー



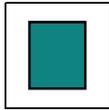
燃料タンク



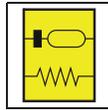
高電圧切断



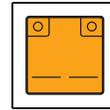
エアバッグ



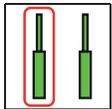
高強度ゾーン



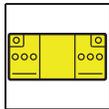
SRS コント
ロール ユ
ニット



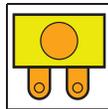
高電圧バッテ
リー パック



ガス ストラッ
ト/負荷付き
スプリング



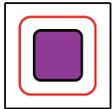
バッテリー充
電不足



ヒューズボッ
クスで作動停
止する高電圧
システム



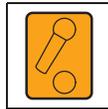
高電圧電源
ケーブル/構
成部品



シートベルト
プリテンショ
ナー



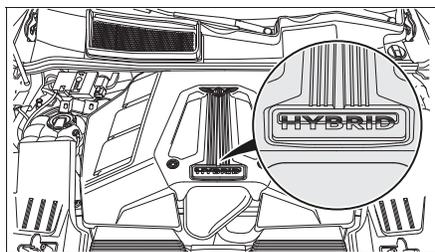
燃料タンク



高電圧切断

車両識別

Bentayga ハイブリッド識別特性 - 基本装備



エンジン カバー上の「HYBRID」のバッジ



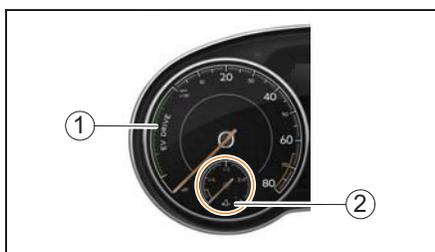
両フロント ドア上の「HYBRID」のバッジ



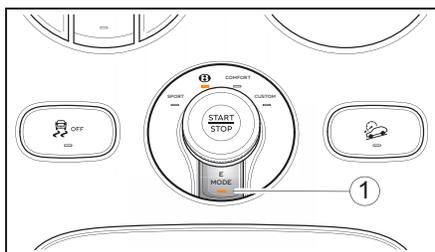
テールゲート上の「HYBRID」のバッジ



全トレッド プレート上の「HYBRID」のバッジ



インストルメント クラスタ上の「EV DRIVE」(1) と高電圧バッテリー ゲージ (2)



エンジン スタート/ストップ ボタンの隣の「EV」モード インジケータ ライト (1)



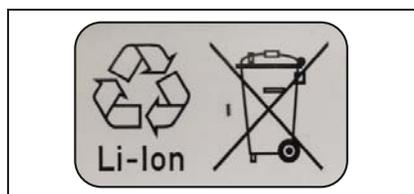
車両後部左側充電ソケット リッドの後ろの車両充電接続部

ハイブリッド構成部品のラベリング

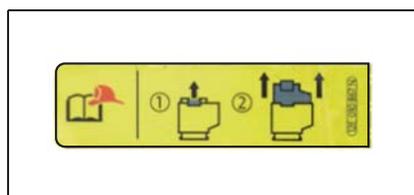
全ての高電圧構成部品及び高電圧切断ポイントは警告/情報ステッカーで明瞭にマーキングされています。



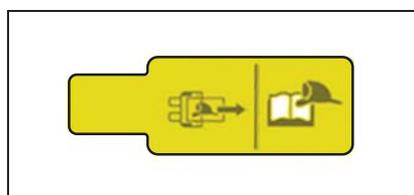
高電圧構成部品の上



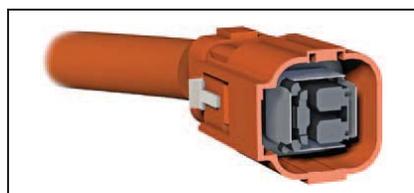
高電圧バッテリーの上



サービス切断部の上



ヒューズの上



全ての高電圧ケーブルはオレンジ色の絶縁材付き

ハイブリッド システムの安全情報

車載高電圧システムの損傷されていないプラグやコネクタ、ケーブル、ソケットは触れても安全です。

⚠ 危険！ 誤った取り扱いをすると電気ショックによって重傷もしくは致命傷を負う危険があります！

高電圧構成部品が正しく取り扱われないと、致命傷を負う危険があります。

- 作動中の高電圧構成部品に触れないでください。
- 車載高電圧システムのオレンジ色の高電圧ケーブルを損傷しないでください。
- 車載高電圧システムをオフにした後も、高電圧バッテリー内に電圧が残っている場合があります。高電圧バッテリーは決して損傷したり開いたりしてはなりません。

パッシブ セーフティ システムと高電圧システムをオフにする

⚠ 警告！ 静止状態の電気モーターは静かです

静止状態のモーターは静かなため、車両が始動準備できているかどうか、作動音から判断できるとは限りません。

- エンジン音が聞こえなくても、車両が始動準備できている場合があります。
- イグニッションをオンにすると、高電圧バッテリーの充電状態によっては内燃エンジンが自動的に始動することがあります。

高電圧システムの作動停止

高電圧システムは、エアバッグかシートベルト プリテンショナーが作動する事故が起きると、自動的にオフになります。

高電圧システムが確実に作動停止するよう、アクセスできる場合は停止手段としてプライマリーかセカンダリーの緊急切断ポイントの使用をお勧めします：

- プライマリー緊急切断ポイント：イグニッションを「OFF」にして、エンジン ルーム内の前方左側にある 12 ボルトのサービス プラグ（ステッカーでマーキングされています）を抜いてください。
- セカンダリー緊急切断ポイント：イグニッションを「OFF」にして、トランクの左側にあるヒューズ ボックス内の 4 番ヒューズ（ステッカーでマーキングされています）を引き抜いてください。

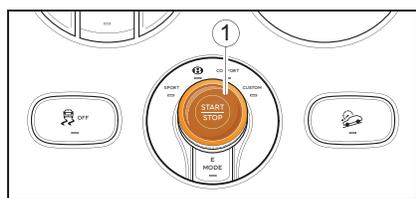
パッシブ セーフティー システムの作動停止

パッシブ セーフティー システム（エアバッグとシートベルト プリテンショナー）が確実に作動停止するよう：

1. 乗員室内の 12 ボルト バッテリーは切断されているべきです。12 ボルト バッテリーの切断後の待ち時間は 1 分間です。
2. 電圧が車載 12 ボルト バッテリーに行かないことを確実にするため、高電圧システムはプライマリーかセカンダリーの切断ポイントを介して作動停止されるべきです。

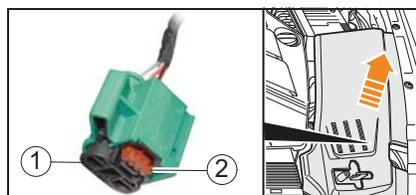
高電圧システムの作動停止

イグニッションをオフにする



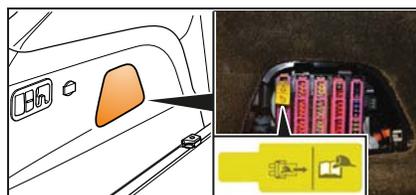
ブレーキ ペダルを踏まないでエンジン スタート/ストップ ボタン (1) を押してイグニッションをオフにしてください。

プライマリー緊急切断ポイント：エンジン ルーム内の 12 ボルトのサービス プラグを抜く



1. エンジン ルームの左側のカバー（矢印）を取り外します。
 2. リテーナー (2) を押して解除メカニズムを下に抑え、高電圧システム用メンテナンス コネクター (1) を停止するまで引っ張り出します。
- エアバッグやシートベルト プリテンショナーのようなパッシブ セーフティー システムには、まだ車載の 12 ボルト バッテリーから電圧が供給されています。

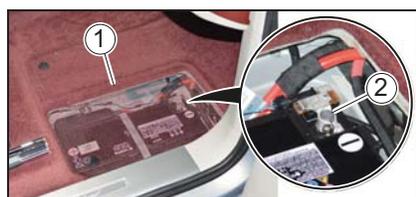
セカンダリー緊急切断ポイント：トランク左側のヒューズ ボックス内のヒューズを引き抜く



1. トランク左側のヒューズ ボックスのカバーを開けてください。
 2. ヒューズ ブロックからリテーニング フレーム (1) を取り外します。
 3. 4 番のヒューズ（差し込み図のようなステッカーでマーキングされています）を抜いてください。
- エアバッグやシートベルト プリテンショナーのようなパッシブ セーフティー システムには、まだ車載の 12 ボルト バッテリーから電圧が供給されています。

パッシブ セーフティー システムの作動停止

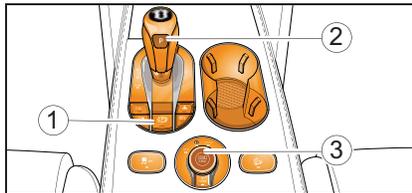
12 ボルト バッテリーの接続を外す



車両にジャンプスタート用リード線が接続されていないことを確認してください。

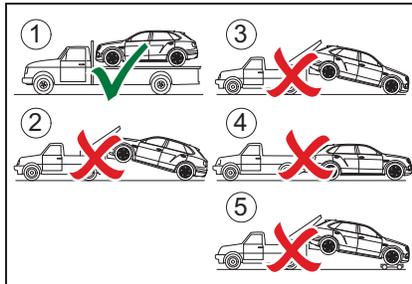
1. 可能なら、右側前席をできるだけ後方へ動かします。
2. 装備されている場合は、カーペットのオーバーマットを取り外します。
3. 右フロント フットウェル内のカーペットの切込み (1) を緩めてください。
4. 12 ボルト バッテリーの陰極ケーブル (2) を切り離して、誤って接触しないよう固定します。

車両の駐車



1. ブレーキ ペダルを踏んで車両を停止してください。
2. スイッチ (1) を引き上げてパーキング ブレーキを掛けます。
3. セレクター レバーのパーキング ロック ボタン (2) を押してパーキング ロックを掛けます。
4. スタート/ストップ ボタン (3) を押してイグニッションをオフにしてください。

事故後の車両の移動



事故の後で車両を通常通りに運転できない場合、車両は現場から牽引されなければなりません。

⚠️ 注意！

- 1 に示されているように、車両は 4 輪全てが浮いている状態で搬送されなければなりません。
 - 2 や 3, 4, 5 の牽引法を使用することは禁じられています。
 - 車両の牽引前に：ハザード警告灯を作動し、車両のドアを全て閉じてロックしてください。
 - 牽引過程では車両内に人が居るのは許されません。
- フロントとリア両方のリカバリー フックは牽引用フックではなく、緊急事態で車両を回収して、堅固な牽引バーによって適切な搬送車に載せるためのみ使われるべきです。
 - 可能な限りは、リアに取り付いているものよりフロントのリカバリー フックが使用されるべきです (リアのリカバリー フックは平地で非常に低速で、できる限り短時間のみ使用されるべきです)。これに従わないと、リカバリー フック装置と関連する車体の構成部品を損傷する恐れがあります。
 - エンジンが作動しておらず、電気システムも有効でない場合、ブレーキとステアリング システムへのアシスタンスは利用できません。従って、制動距離と操舵性により大きな余裕を持たなければなりません。
 - 車両は必ず「ニュートラル緊急リリースに入れて駐車」して回収してください。そうしないと、トランスミッション構成部品が損傷する恐れがあります。
 - 車両の移動が安全であると宣言された場合のみ車両を事故現場から動かしてください：高電圧バッテリーの変形や液体の漏れ、煙などが全て正しく処理されたことを確認してください。

完全にまたは部分的に沈没した車両

沈没した車両は、他の全ての車両と同様に取り扱われるべきです。

水中にあるため、車両のボディがより大きな電気ショックの危険を呈することはありません。

⚠️ 警告！ 沈没した車両を取り扱う時は、必ず適切な PPE を着用すること。

車両を水から出して、高電圧システムを「高電圧システムの作動停止」 on page 6 に説明されているように、通常の方法で作動停止してください。

消火活動

高電圧バッテリーが関係しない車両の小規模な火事には、通常の方法を使用できます。

加熱されると、液体やガスの容器 (ガス ストラット、エアバッグ インフレーター等) は爆発、つまり BLEVE (沸騰液体拡張蒸気爆発) します。熱いゾーンに入る前には、常に適切なノックダウンを行ってください。

高電圧バッテリーが高温に曝されたり発火したり、ケースが歪曲したり亀裂が入ったり、何らかの破損があった場合は、大量の水を使ってバッテリーを冷やしてください。十分な水の供給を確保してください。

バッテリーの火事の消火には、最高 24 時間かかる場合があります。バッテリーが燃えるに任せることが必要かも知れません。この方法が選択された場合、地域の環境とそこの中の人間の安全保護のための予防策を講じてください。煙や蒸気の証拠は、バッテリーの温度がまだ上がり続けていることを示します。

事故現場を離れる前に、熱画像装置を使用して高電圧バッテリーが完全に冷えたことを確認してください。冷えたと宣言された後、最低 1 時間は高電圧バッテリーの温度を監視してください。バッテリー温度が冷めたと宣言された後最低 1 時間は、警察やリカバリー要員を含む二次対応者の車両へのアクセスを許してはなりません。

二次対応者は、再発火の危険の可能性があることを警告されなければなりません。

車両が高電圧バッテリーの完全性が傷つけられた衝突に関わった場合、その車両は他の車両や建物、引火物や引火性表面から十分な距離をおいた、アクセスが制限されている屋外の駐車場に保管されなければなりません。

事故の損傷が高電圧システムのどこの部分でもを直接天候に晒されるようにした場合、防水布で覆われなければなりません。

⚠ 警告！

- 火事に関係した場合、車両全体が励磁されたと考えて、車両のどこにも触れないでください。
- SCBA（自給式呼吸器）を含む完全な PPE を、常に着用すること。